



日本経済に
新しいチカラを

In Partnership with
Management and Employees



株式会社日本産業推進機構

〒105-6241 東京都港区愛宕2-5-1
愛宕グリーンヒルズ MORI タワー 41 階
<https://nsskjapan.com/>

2025-2026
NSSK ESG Annual Report: Introducing α-ESG





嵐山・竹林の小径（京都府）



天王八幡神社・金ボタル（岡山県）



第一只見川橋梁・只見線（福島県）

Commitment

03 NSSKのAlpha-Generating ESGコミットメント

- 05 CEOメッセージ
- 11 NSSKのAlpha-Generating ESGアプローチ
- 17 Alpha-Generating ESG方針と実践

Action

19 NSSKのAlpha-Generating ESGへの取り組み

- 21 NSSKによるファンドの組成
- 27 新規投資先のα-ESGの取り組み
- 29 SDGsへの貢献によるインパクトの創出
- 31 サステナビリティへのコミットメント
- 33 NSSK Awards – Case Studies

Philosophy

41 NSSKのフィロソフィー

- 43 NSSKフィロソフィー
- 47 NSSKのAlpha-Generating ESG推進組織

- 49 ダイバーシティ&インクルージョン
- 51 社歌／編集後記
- 52 会社概要

PEI Firm of the Year in Japan 2023 受賞

PEI Mid-Market Firm of the Year in Asia 2023 受賞

日本産業推進機構は、Private Equity International (PEI) 社主催の2023年PE Firm of the Year in Japanならびに2023年Mid-Market Firm of the Year in Asiaに選出されました。PEIは「同業他社や業界関係者の視点からその年のベンチマークになるようなファーム」を本アワードで選出しています。NSSKでは、Firm of the Year in Japanについては、2017年、2018年、2020年、2022年に続き5回目の受賞となります。また、Mid-Market Firm of the Year in Asiaは初受賞になります。この賞はアジア地域のなかでも特に中堅市場に焦点を当てたファンドの運用実績や、投資戦略などの面で堅調な成果を上げたファームに贈られるものです。PEIからは過去に2020年、2021年にはPEI Operational Excellence Awardも授賞しております。このような評価をいただき、大変光栄であり、この受賞に恥じないよう、これまで以上に投資先の財務およびα-ESGにおいて優れた結果を上げていくよう引き続き努力を続けてまいります。



Thank You!

With much appreciation to all of our Partners,
Friends, Families and Supporters.



Commitment

NSSKのAlpha-Generating ESG コミットメント

- 05 CEOメッセージ
- 11 NSSKのAlpha-Generating ESGアプローチ
- 17 Alpha-Generating ESG方針と実践

嵐山・竹林の小径（京都府）



CEO メッセージ



パートナーの皆様、 NSSKを支えてくださるすべての皆様へ、

平素より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。皆様の温かなご支援、貴重なご助言、そして変わらぬ信頼に、NSSK一同、心から感謝申し上げます。

2025年、巳年を迎える本年、私たちは2014年11月1日の創業から11周年という節目の年を迎えます。干支の巡りにおいて「巳」は再生と新たな成長の象徴とされており、過去を振り返り、次の挑戦への準備を整える年とも言われます。自己を省み、精神的なつながりを深め、社会への貢献に改めて思いを巡らせる——すなわち「パーパス（存在意義）」を見つめ直す時期です。

この節目にあたり、NSSKは改めて創業以来のミッションを胸に刻み直しました。

1. 「人として常に正しいことを貫く」
2. 「すべてのステークホルダーの物心両面の幸福を最大限に追求する」
3. 「環境を守り、社会課題に取り組み、常に公正かつ透明であり続ける、世界トップクラスの投資運営会社を目指す」

私たちは、創業当初——ブランドも資本も、事務所の机すらなかった11年前——にNSSKを形づくったのと同じ粘り強さと新たな情熱をもって、このミッションを改めて追求しています。

代表取締役社長
ESGコミッティー議長

津坂 純

Alpha-Generating ESG (α -ESG) の導入

NSSKでは、ESGを単なるリスク管理ではなく、“企業価値を高める原動力”として位置づけ、「Alpha-Generating ESG (α -ESG)」という独自の概念を提唱しております。

これは、 α -ESGに関する方針や事業プロセスを体系的に設計し、KPIを基に実行・測定することで、私たちの事業が持つ本源的な価値向上を図る仕組みです。言い換えれば、NSSKの α -ESG方針は「測定可能な企業価値の向上」と直接結びついています。

α -ESGは一朝一夕で生まれたものではなく、ESG委員会による不断の努力の積み重ねから生まれました。 α -ESG方針と企業価値向上の因果関係を実証的に確立し、「人として正しいことを貫くこと」が、経済的にも合理的な選択であることを示してきました。

NSSKでは、 α -ESG方針を通じて持続性と収益性を両立させる事業基盤を築くことこそが、高い投資リターンを生み出す源泉であると確信しております。これまでの実績がその仮説の確かさを裏付けており、今後も α -ESGを通じた企業価値の持続的な向上を追求してまいります。

原点回帰（Going Back to Basics）

NSSKでは、創業以来の理念に立ち返り、第三者の視点も交えながら、組織としての強みと今後の改善余地を明らかにするための業務運営状況評価を実施しました。

その結果、多くの関係者から、NSSKは以下の点で高く評価されていることが明らかになりました。

1. 明確な価値観と行動原則を持ち、強固な信頼関係を基盤とする組織であること
2. 日本各地の地域社会の豊かな暮らしと持続的な経済成長の実現に真摯に取り組んでいること
➡ 詳細はP.29～P.30をご覧ください
3. 独自の体系的かつ実証済みの業務改善フレームワークを有していること
➡ 詳細はP.18をご覧ください
4. 医療、教育、コンテンツ、不動産・金融など主要成長領域や、高い市場シェアを有している産業、高齢者向け市場、デジタル・AIを活用した事業変革といった投資テーマに注力していること ➡ 詳細はP.23～P.24をご覧ください
5. 日本政府、地域の金融機関および日本・世界有数の機関投資家からの強力な支援を受け、多様な投資家基盤を有していること

一方で、今後の改善に向けて、以下の課題も挙げられました。

1. NSSKの実績および強みをより明確に発信していくこと
2. α -ESGがどのように投資リターンの創出に結びついているかを具体的に示すこと
3. これまでの優れた投資成果が体系的・再現可能・持続的であることを明確にすること

私はこの機会を、チームへの単なる称賛の場ではなく、今後の成長と改善のための行動へとつなげていきます。

NSSKの実績とトラックレコード

私たちの投資戦略は私たちのミッションを原点としております。

「人として正しいことを貫く」という原則に基づき、私たちは、従業員の福祉と幸福の向上に継続的に取り組むことで、卓越した投資成果がもたらされると信じています。

CEOメッセージ

その一例を、以下のチャートに示しています。NSSKでは、女性の活躍促進、賃金増加率、従業員数の増加率といった指標を投資先で主要なKPIとして設定しています。過去6年間ににおける旗艦ファンド(NSSK 1号・2号・3号)から「卒業」した投資先では、これらのKPI改善の取り組みが、投下資本倍率3.6倍、IRR46%という成果につながりました。また、従業員の福利厚生を測る指標の一つとして、従業員定着率という新たなKPIも導入し、初期的には良好な傾向が見られています。

	女性従業員比率	女性管理職比率	従業員増加率※1	賃金上昇率※1	投資リターン
平均値※2	59%	27%	18%	11%	3.6x / 46%

※1 投資実行時と卒業時について比較しています。 ※2 卒業した13社の平均を示しています。

私たちは、投資先事業の成長とその投資実績を心から誇りに思っています。これらの成果の実現に尽力した経営陣ならびに全従業員パートナーに、心より感謝申し上げます。

2025年の年次α-ESGレポートでは、NSSKの価値創造の原点を示すケーススタディーを紹介しています。従業員の皆様が真摯に取り組み、高いモチベーションを持って明確な目標に向かうことで、卓越した成果が生まれ、それが持続可能な成長へとつながっています。

➡ 詳細はP.35～P.39をご覧ください

Alpha-Generating ESGの方針と実践

Alpha-Generating ESGの考え方は、極めてシンプルです。経営陣が策定するあらゆる方針や手続きにおいては、「効果の測定」が不可欠であり、α-ESGへの取り組みもその例外ではありません。NSSKが「アルファを生み出すESG(α-ESG)」に注力しているのは、それが「人として正しいこと」であると同時に、経済的にも理にかなったことだからです。測定可能な指標を通じて、望ましい成果へと私たちを導く羅針盤—それがα-ESGの役割です。

以下は、「女性の活躍推進」に焦点を当てた事業改善活動の事例です。女性従業員および管理職の増加と業績改善(利益向上による測定)や投資成果との間に直接の相関があることがわかります。

「女性の活躍推進」の考え方は明快です。キャリアパスの整備、柔軟で働きやすい環境づくり、家庭支援制度の導入、そして公平性と透明性を備えた人的資本制度の実行を通じて、女性の力を尊重することが従業員全体の意欲を高め、組織の持続的な活力につながると私たちは確信しています。

投資先	女性従業員比率	女性管理職比率	EBITDA成長率	投資リターン
Company A	79%	61%	40%	3.0x
Company B	57%	29%	9%	2.8x
Company C	79%	46%	100%	2.9x
Company D	79%	61%	—	2.9x
Company E	54%	31%	80%	2.7x
Company F	47%	17%	38%	3.8x
Company G	59%	27%	19%	6.9x
Company H	26%	0%	2%	2.1x
Company I	65%	12%	132%	8.2x
Company J	57%	10%	29%	1.4x
Company K	26%	5%	80%	4.2x
Company L	56%	20%	44%	2.3x
Company M	85%	27%	5%	3.1x

※ 過去6年間にわたりNSSKを卒業したすべての企業を示しています。

体系的かつ再現可能な卓越した投資成果

すべての投資案件には固有の特性を持ち、取引の構造、事業環境、将来の見通しはそれぞれ異なります。それにもかかわらず、NSSKは投資先企業における課題解決や業務改革に対して、常に体系的かつ再現性のあるアプローチを採用しています。投資全体に共通する成功要因を体系的に抽出し、汎用性のある業務改善ツールやプロセスを展開することで、持続的な事業成果の創出を実現しています。

私たちは、効果的で再現性があり、卓越した成果を創出する投資手法と業務改善プログラムを確立し、着実な進展を遂げてきたと認識しています。このアプローチには、以下の主要な要素が含まれます。

- 投資機会と資金調達源を最大化し、より公平な取引条件、的確な投資選定、および競争力のある価格提示を実現すること
- 成功の明確なパターンが見られる産業やテーマに焦点を当て、各投資から学びを積み上げながら規律をもって運営すること
- 優れた人材を惹きつけ、「挑戦し成長したい」と思えるような人的資本制度を設計すること
- 早期の「卒業」計画策定と潜在的譲受け候補との関係構築に注力し、複数の「卒業」戦略や早期流動性オプションを経営陣と評価しながら「卒業」プロセスを管理すること
- 経験からの学びを重ね、イノベーションを推進しながら、業務改善を継続的に実施すること

スタートアップ思考

NSSKの最初の投資は、NSSK1号ファンドによって実行されました。NSSK1号ファンドの戦略は、三重県を拠点とする中堅・中小企業を対象として、案件発掘を行い、地域金融機関と連携しながら、資金提供から事業運営の改善までを一体的に推進することでした。結果として、三重県という地域経済において、事業承継型のユーエスマート、カーブアウト型の伊勢シーパラダイス、スペシャルシチュエーション型のホテルキャッスルインといった案件を実行し、資金提供と事業運営支援を通じて企業価値を高めました。これらの取り組みは、日本の地方経済における案件組成・実行力を示すとともに、後の「地域エコシステム戦略」の原点となりました。



伊勢神宮にて

私たちの歩みは、日本の文化的・精神的・歴史的象徴である伊勢神宮を擁する三重県から始まりました。私たちのスタートアップ思考と、戦略を粘り強く遂行してきた努力が、未来への道を切り拓く原動力になっています。

成功するスタートアップに共通する要素は「GRIT(やり抜く力)」であると言われています。私たちもこの考えに深く共感しており、この揺るぎない情熱と推進力を、組織が独自性をもって成長・拡大できるエコシステムと基盤の構築に生かすべきと確信しています。

NSSKが2025年に「原点回帰」を掲げるにあたり、私たちは改めてこの「スタートアップ思考」の力を再認識しています。何も持たない状況だからこそ、限られた資源の中で成果を生み出す努力が不可欠です。

NSSKは、投資の実行および投資先の業務改善活動において、業務プロセスのデジタル化や生成AIの活用に関して、常に最前線で取り組む責任を担っています。重要なのはコストではなく、全従業員がこれらの新しいテクノロジーを積極的に活用し、変革を受け入れる力を持つことです。

今日のスタートアップは、革新的な技術—生成AI—を活用できるという大きな優位性を持っています。NSSKもまた、あらゆるビジネスプロセスにおいて生成AIの活用を積極的に進めていきます。日本政府も、生成AIが2025年までにGDPを最大6%押し上げると予測しており、企業がいかに迅速にこの変革技術を取り入れているかを物語っています。

CEOメッセージ

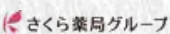
生成AIは「あると便利な」技術ではなく、「今すぐ不可欠な」技術です。現在、NSSKでは生成AIを活用した複数の業務改善モジュールを推進しています。具体的には、以下の分野で実装を進めています。

- (1) 投資案件のソーシングおよび評価・目利き
- (2) 投資先企業の業務改善
- (3) ファンド運営およびLP（投資家）とのエンゲージメント
- (4) α-ESGおよびガバナンス強化の施策とそのモニタリング

感謝の言葉を、心を込めて

「ありがとう」という言葉は、いくら伝えても尽きることのない深い意味を持っています。

この精神のもと、地域や企業の現場で真の変化を生み出してきた優れた経営陣と全従業員を称えたいと思います。皆様の努力に心から感謝をささげるとともに、2025年NSSKアワードの受賞者の皆様に、心よりお祝いを申し上げます。

売上増加部門受賞		株式会社社関 ➡ 詳細はP.35をご覧ください
新規事業・新規投資部門		クラフツ株式会社 ➡ 詳細はP.36をご覧ください
人材育成・補強部門		株式会社WEWORLD ➡ 詳細はP.37をご覧ください
オペレーション効率化・合理化部門		株式会社鴨川グランドホテル ➡ 詳細はP.38をご覧ください
α-ESG部門		さくら薬局 ➡ 詳細はP.39をご覧ください



株式会社社関 板山代表取締役役にAwardの盾を授与



株式会社WEWORLD 荻野代表取締役社長にAwardの盾を授与

結びに

私たちがNSSKを創業した際、「人として正しいことを貫く」という考えに基づくミッションを掲げました。

そして今日、そのミッションを揺るぎなく追求してきた結果、「すべてのステークホルダーの物心両面の幸福を追求する」という指針こそが、卓越した投資成果と、持続可能な環境・社会・ガバナンスへの真のインパクトを生み出す源であると、これまで以上に確信しています。

このミッションは、業界の中でも極めて稀有であり、他に類を見ないものだと言われています。私たちはこれからも、NSSK流の投資を通じて、世界に前向きな変化をもたらすべく努めてまいります。

NSSK一同、皆様にとって素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

敬具

津坂 純



NSSKの経営委員会から皆様へ

NSSKの経営委員会はα-ESG推進を最優先に捉え、その価値観と原則を守り、育み、すべての業務に適用してまいります。

NSSKの経営委員会を引き続きよろしくお願いいたします。

NSSKのAlpha-Generating ESGアプローチ



Slogan NSSKコーポレートスローガン

日本経済に新しいチカラを In Partnership with Management and Employees

この苔（こけ）で作られた彫刻は、NSSKのロゴに見られる「Rising Sun（昇る太陽）」をイメージしてデザインされたものです。

日本において苔は、忍耐力、しなやかさ、簡素さ、

そして不完全さや儚さの中に美を見出す美学を象徴しています。

苔は、絶え間ない成長や謙虚さといった特性を体現し、神道の信仰においては、生命の永遠の循環と再生の象徴としても捉えられています。

Policy 環境・社会・ガバナンス（ α -ESG）に関する基本方針

私どもは、環境・社会・ガバナンス（ α -ESG）に関する基本方針を実践することが社会的責任に応えるものであり、また、投資ポートフォリオからのリターンの向上を可能にするものと考えます。私どもは、創立以来、下記1～9の方針を基盤として投資に関する活動を行っております。

- 1 ある特定の企業に投資を行う際には、当該企業を保有する期間のみならず、投資自体の可否を検討する過程においても、当該企業に関する α -ESGの問題を考慮します。
- 2 必要に応じて、直接的にまたはポートフォリオ企業の代表者等を通じて、利害関係者の考えを汲むようにします。
- 3 長期的な持続可能性を目指し、投資を行った企業の成長と改善に努めます。取締役の派遣やその他のガバナンス上の手段を通じ、ポートフォリオ企業と共に α -ESG分野でのパフォーマンスの向上及び悪影響を最小限に留めるための努力を行います。
- 4 監査、リスク管理、潜在的な利益相反の分野においてふさわしい水準の監督を行い、さらに投資家と経営者の利害の一致を図る施策の実施に努めます。
- 5 賃金、職場での安全、雇用機会の均等、団結権、団体交渉権その他のすべての面で投資対象国における労働法を遵守します。
- 6 商業的な有利性を確保するための賄賂及びその他の不適切な支払いを禁止する厳格な方針を貫きます。
- 7 投資活動によって影響を受ける人々の人権を尊重し、資金が児童労働や強制労働、差別的政策を行う企業に流れていないことを確認するよう努めます。
- 8 α -ESGに関連する事項に関して投資家にタイムリーな情報提供を行います。
- 9 ポートフォリオ企業からの α -ESGに関する開示を求め、ポートフォリオ企業やその周辺企業が本基本方針に沿って事業を推進するよう推奨します。

NSSKのAlpha-Generating ESGアプローチ

NSSKでは、プライベートエクイティの投資活動のなかで社会的責任に応え持続可能な社会の実現に貢献するため、複数の取り組みに参加・賛同しています。

責任投資原則（PRI）への署名

NSSKは2019年9月に責任投資原則に署名しました。当社は環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）の3分野（総称して「ESG」）における課題に配慮した責任投資を行っていくことへの意志とその姿勢を対外的に明らかにし、ファンド出資者の皆様に対する受託者責任と、投資先企業ならびにステークホルダーの皆様に対する責任を果たしてまいります。



日本プライベート・エクイティ協会（JPEA）ESG委員会

2023年に発足したJPEAのESG委員会メンバーとして、協会および会員企業のESG活動推進に向け、さまざまな企画の立案・支援を行っています。具体的な活動内容は、以下の通りです。



一橋大学院での講義の様子

一橋大学大学院・国際大学大学院での講義

PEファンドでは、投資先企業を通じて多様なESG活動を推進しています。こうした取り組みを通じて、業界が果たす社会的役割や貢献について、学生の理解を深めることを目的に、「ESGに関するPEファンドの取り組み」というテーマで講義を実施しています。昨年は一橋大学大学院にて開催し、今年は国際大学大学院でも同様の講義を行いました。これらの講義では、ESGの基本概念に加え、PEファンドがどのように投資先企業の環境・社会・ガバナンス面に働きかけているか、具体的な事例を交えて紹介しています。学生との対話を通じて、実務と理論の橋渡しを図る貴重な機会となっています。

次世代の“ネクサス”と投資：Climate Week

2025年3月、地球環境を取り巻く課題をテーマとしたイベント「次世代のネクサスと投資」が開催されました。本イベントでは、環境・社会・経済の持続可能な連携（ネクサス）を探ることを目的に、国内外の専門家や実務家が集まり、活発な議論が行われました。「日本のPE業界のESGへの取り組み」というセッションにて、パネルディスカッションに登壇し、プライベート・エクイティ業界が投資先企業を通じてどのように環境課題に向き合っているか、具体的な事例を交えて紹介しました。



PEI-Regional Impact Forum in Asia

2024年10月にPrivate Equity International (PEI) 主催で開催された「Regional Impact Forum in Asia」でインパクト投資の運用原則を運営するGIIN (The Global Impact Investing Network) 代表のJoohee Rand氏と「ESGからインパクトへ」というテーマで登壇。また、GIINと共同でカクテルレセプションを主催。



インパクト投資の運用原則（OPIM）への署名

NSSKは2021年4月にインパクト投資の運用原則に署名しました。また、2023年2月から3年連続でアジア・太平洋地域の議長を務めています。

インパクト投資の運用原則

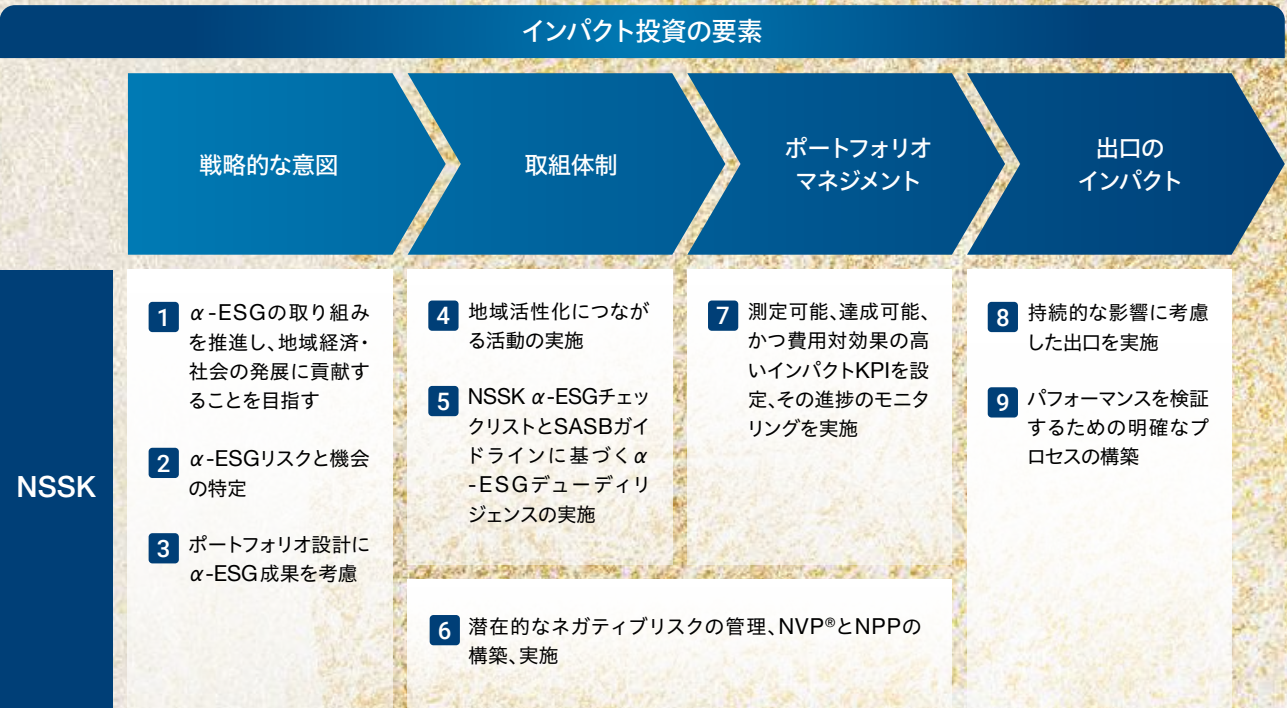
インパクト投資の運用原則は、投資ライフサイクル全体にわたってインパクトを統合するための世界的な基準です。この原則は、「インパクト投資家であること」が実際に何を意味するのかについて、インパクト投資市場に明確な指針を示し、投資家の信頼と誠実性を高めるとともに、インパクト・ウォッシング（見せかけのインパクト投資）に対する懸念に対応し、優れた実践の促進を図ります。本原則は、2019年4月に世界銀行によって策定され、現在では40カ国以上、180を超える機関が署名しています。アセットクラス別に見ると、署名機関の投資のうち3分の1以上がプライベート・エクイティに分類されています。



開示書類の第三者検証

インパクト投資の運用原則の署名機関は、インパクトファンドの運用について独立した第三者機関の検証を受けることが求められます。NSSKでは、この分野の第一人者である米国のBlueMark[®]により検証を受けています。

※ BlueMarkはサステナブル投資およびインパクト投資市場における独立したインパクト検証とインテリジェンスの分野でのリーディングプロバイダーです。



NSSKのAlpha-Generating ESGアプローチ

α-ESG 構成要素

NSSKは、α-ESGに関して「均等な機会の提供」「多様性」「雇用創出」「最善のガバナンス」「健康と福祉」「環境」を重要な要素として認識し、責任ある投資活動を遂行し、従業員の幸せを追求しています。



私たちは、真の従業員エンゲージメントこそが、持続的で実効性のある組織変革を生み出す最も強力な原動力であることを確信しています。

従業員が「自ら変革を起こせる」と信じ、その力を発揮できる環境が整ったとき、組織は本当の意味で動き出します。

現場主導の意思決定、明確な財務の説明責任、そして「全員参加の経営」という仕組みを通じて、当事者意識と主体的なエンゲージメントの文化が育まれます。

これは、京セラの創業者・故稲盛和夫氏が提唱し実践した「アメーバ経営」の精神に通じるものです。稲盛氏はこの経営手法を、KDDI（日本第2位の通信会社）や、リーマン・ショック後に破綻から歴史的な再建を果たした日本航空（JAL）においても効果的に実践されました。

代表取締役社長
ESGコミッティー議長
津坂 純



- α-ESGを前面に押し出した投資活動の実践
- α-ESG戦略に基づいたポートフォリオ構築の推進
- 責任ある投資の推進
- チーフコーポレートフィロソフィーオフィサーを中心とした研修の導入（NPPプログラム）

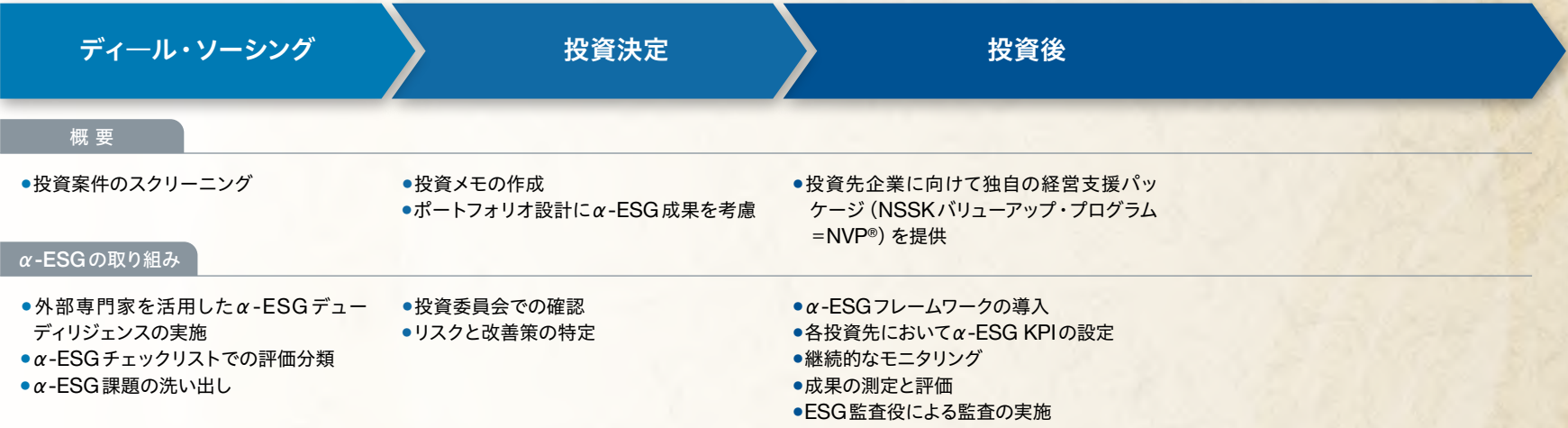
Alpha-Generating ESG方針と実践

日本経済を取り巻く環境とNSSKの意義

中小・中堅企業においては、事業承継や人材不足、市場環境変化への対応など経営者を悩ませる課題が多数存在しています。また、経済の関東一極集中のなかで、日本全体の経済活性化の必要性がより高まると同時に、事業の国際化、Gen AI (ChatGPT)、デジタル化の流れを受けて、従来の産業構造の見直しも迫られています。こうした重大な課題の解決に貢献するべく、NSSKはグローバル・エクセレント・カンパニーで培った知見やノウハウを活用し、潜在力の高い日本の魅力的な企業を対象に、α-ESGを重視して企業・株主価値の向上はもとより、日本ひいては世界経済の発展に資する投資と経営支援を実行しています。α-ESGはNSSKの事業活動の中核的要素であり、NSSKの投資プロセスの基礎となるものであり、全従業員の物心両面の幸福に貢献し、リターンの向上につながっています。

事業活動

投資プロセス



Action

NSSKのAlpha-Generating ESG への取り組み

- 21 NSSKによるファンドの組成
- 27 新規投資先の α -ESGの取り組み
- 29 SDGsへの貢献によるインパクトの創出
- 31 サステナビリティへのコミットメント
- 33 NSSK Awards – Case Studies



天王八幡神社・金ボタル（岡山県）

NSSKによるファンドの組成

2,000億円のAUM活用による
企業の成長支援、さらには地域経済への貢献へ。

2,000億円にのぼるAUM活用による潜在力の高い企業への投資と経営支援を通じて、日本の地域経済の発展及び人類、社会の進歩発展に貢献します。

日本産業推進機構 1号

日本産業推進機構1号投資事業有限責任組合は、2015年に設立されました。本組合は、出資先企業と長期的な出資関係を維持することを目的として設立されております。これにより、日本産業推進機構及び投資先企業の経営陣は一丸となり持続可能な企業価値の向上を目指しております。

当社ではNSSKバリューアップ・プログラム（NVP®）を通じて重要な事業の改善に役立つ施策を講じてきたほか、バランスシート及びコスト構造の最適化、経営手腕のある人材の補強を実施しております。その結果いずれの投資先企業においても業績は順調に推移しております。

日本産業推進機構 3号

日本産業推進機構3号投資事業有限責任組合は、2021年に設立されました。本組合では、分散された10-15件程度のプラットフォーム投資を想定しております。投資対象は高い収益性を背景に安定的かつ強固なキャッシュフローを創出し、確立されたマネジメントを有する優良企業であり、ポートフォリオ全体として地域、業種（セクター）、投資テーマ、及び投資時期での分散を目指します。

また案件類型の観点では、引き続き事業承継案件が多数を占めることを想定しているものの、NSSKメンバーの過去の投資実績や投資経験や、本邦を取り巻く昨今の市場環境をも鑑みて、スペシャル・シチュエーション型や非公開化案件等にも注力しポートフォリオを構築してまいります。

日本産業推進機構 2号

日本産業推進機構2号投資事業有限責任組合は、2016年に設立されました。本組合では、日本国内に本店を有する法人その他の事業主体等のうち、特に潜在力の高い日本の魅力的な企業で、ハンズオン経営支援を実行することによる日本の地域経済の発展に資する投資となることが見込まれる案件を中心として投資を実施しております。優れた会社に投資をし、さらにその会社を偉大な会社に転換させるために、当社では他社と差別化したソーシングの実行、統一されたプライシング方法の採用、NSSKバリューアップ・プログラム（NVP®）の導入により、最高の結果を生み出すことを追求しております。

地域・インパクトファンド（5組合）

NSSKの地域・インパクトファンドは、α-ESG活動の一環として、NSSKのプラットフォームを国内の地域社会への貢献に資するかたちで提供すべく、中部・北陸地域活性化投資事業有限責任組合を1号インパクトファンドとして、2016年より活動を行っております。事業承継案件を中心に、地方の成長性及び潜在力の高い魅力的な中小企業を主な対象として、必要な成長資金、事業の改善に役立つプロセス、人材の補強と育成、国内外への事業展開のサポート、海外顧客の取り込みのサポートなどを速やかかつ具体的にご提供することで、出資先企業及び地元金融機関とともに企業・株主価値の向上を実現し、雇用機会の創出を含めて地域経済・社会の発展に寄与することを目的としています。中部・北陸地域から始めたこの活動は、関東・東日本、近畿・西日本など全国に拡大しており、現在、NSSKグループには、第二世代を含む5つの地域活性化を目的としたインパクト投資のための組合が設立されております。

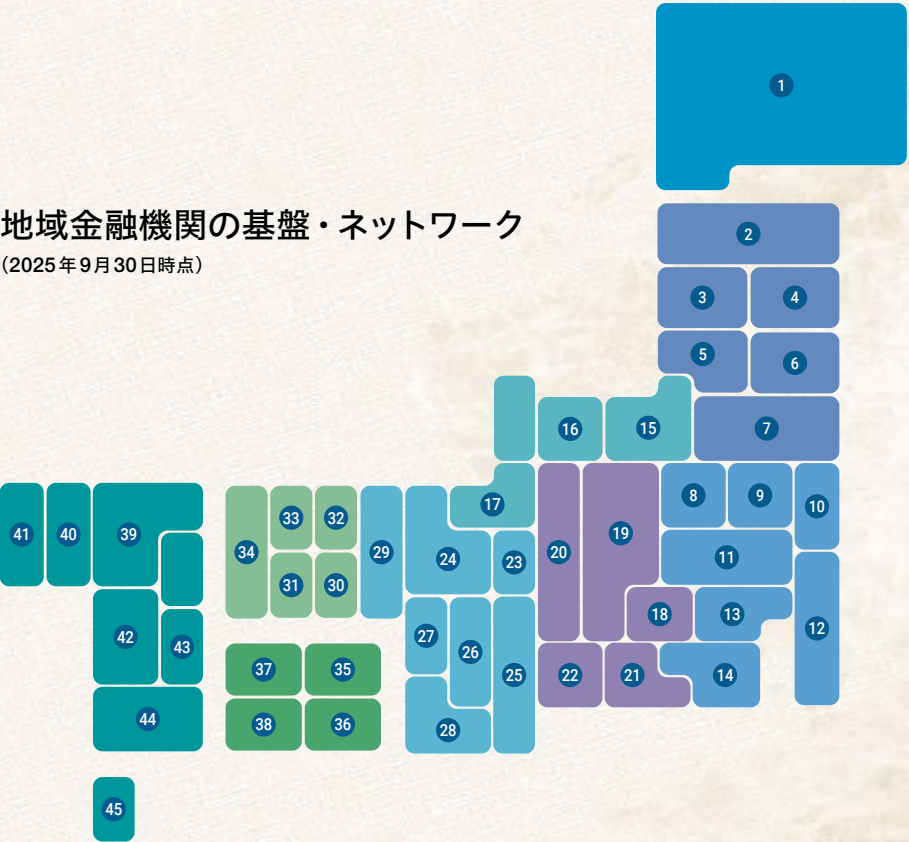
NSSKの理念、すなわち目的に根差した価値創造の基盤は、NSSKの創業原則にさかのぼります。これは今後の取り組みにおいても常に中核であり続けなければなりません。

本質的かつダイナミックな変革には、全社員の全面的なコミットメントが不可欠です。その出発点となるのは、信頼、共有された価値観と目標、そして真の社員エンゲージメントです。

シニアパートナー
石田 昭夫



地域金融機関の基盤・ネットワーク
(2025年9月30日時点)



北海道

- 1 北海道
北洋銀行
北海道銀行

東北

- 2 青森
みちのく銀行
- 3 秋田
秋田銀行
- 4 岩手
岩手銀行
北日本銀行
- 5 山形
山形銀行
荘内銀行
きらやか銀行
- 6 宮城
七十七銀行
- 7 福島
東邦銀行
大東銀行

関東

- 8 群馬
群馬銀行
東和銀行
- 9 栃木
足利銀行
栃木銀行
- 10 茨城
常陽銀行
筑波銀行
- 11 埼玉
埼玉りそな銀行
武蔵野銀行
- 12 千葉
千葉銀行
千葉興業銀行
京葉銀行
- 13 東京
きらぼし銀行
東京スター銀行
東日本銀行
- 14 神奈川
横浜銀行

北陸

- 15 新潟
第四北越銀行
- 16 富山
北陸銀行
富山第一銀行
高岡信用金庫
- 17 福井
福井銀行

中国

- 30 岡山
中国銀行
- 31 広島
広島銀行
- 32 鳥取
鳥取銀行
- 33 島根
山陰合同銀行
- 34 山口
山口銀行

四国

- 35 香川
百十四銀行
- 36 徳島
阿波銀行
徳島大正銀行
- 37 愛媛
伊予銀行
- 38 高知
四国銀行
高知銀行

九州

- 39 福岡
福岡銀行
西日本シティ銀行
北九州銀行
福岡ひびき信用金庫
- 40 佐賀
佐賀銀行
- 41 長崎
十八親和銀行
- 42 熊本
肥後銀行
- 43 宮崎
宮崎銀行
- 44 鹿児島
鹿児島銀行
南日本銀行
- 45 沖縄
琉球銀行

中部

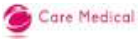
- 18 山梨
山梨中央銀行
- 19 長野
八十二銀行
長野銀行
- 20 岐阜
十六銀行
大垣共立銀行
岐阜信用金庫
- 21 静岡
静岡銀行
スルガ銀行
- 22 愛知
名古屋銀行
愛知銀行
中京銀行
碧海信用金庫
知多信用金庫
豊川信用金庫

近畿

- 23 滋賀
滋賀銀行
- 24 京都
京都銀行
- 25 三重
百五銀行
三十三銀行
北伊勢上野信用金庫
- 26 奈良
南都銀行
- 27 大阪
関西みらい銀行
池田泉州銀行
大阪商工信用金庫
- 28 和歌山
紀陽銀行
- 29 兵庫
みなと銀行

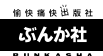
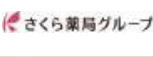
NSSKによるファンドの組成

投資先企業（2025年9月30日時点）

西日本 タカギ		西日本 ウィザス		東日本 クラフツ		 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		投資実績の詳細は 当社ウェブサイトをご 覧ください。		
 浄水器・散水用品等の水廻り製品の製造・販売を行う企業です。国内のみならず、ベトナムの製造拠点やオーストラリアに販売拠点を展開しています。 ▶ https://www.takagi.co.jp/		 1976年に学習塾松原教場を母体に設立された総合教育サービス企業。2003年に株式会社学育舎から現商号へ変更し、現在は広域通信制単位制高校および学習塾の運営を主な業務としています。 ▶ https://www.with-us.co.jp/		 栃木県、新潟県、長野県、埼玉県に4工場、タイ・バンコクに2工場を有し、食品、菓子、医薬品などの軟包装パッケージを製造。日本とタイで提供するグローバル軟包装コンバーター企業です。 ▶ https://www.craftz.co.jp/						
西日本 ベストライフ		中部 レイフィールド		東日本 ケアメディカル		 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 カントクグローバルコーポレーション		
 中古ブランド品等の買取・販売を行うリユース事業を運営。大阪、兵庫、東京、神奈川および埼玉において29店の買取専門店舗を展開しています。 ▶ https://bestlife-ltd.com/		 「RAY Field」のブランドのもと、トータルビューティーサロンとして事業展開。東海、九州、北陸、中国地方を中心に、フランチャイズも含めて店舗展開する美容室チェーンです。 ▶ https://rayfield.jp/		 埼玉県においてサービス付き高齢者向け住宅を運営。訪問介護による介護サービスに加えて、地域の医療機関と連携し、訪問看護による医療サービスも提供しています。 ▶ https://care-medical.co.jp/						
西日本 ミライフ		中部 SORA GROUP		東日本 鴨川グランドホテル		 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 next innovation		
 自社開発の教材を利用したeラーニング形式で講座を提供するパソコン教室を運営。全国で136教室を展開しています。 ▶ https://melife.jp/		 名古屋を中心に店舗展開している外食企業です。和食、ピッツェリア、ラーメン、ベーカリーなどさまざまな形態の飲食店を運営しています。 ▶ https://sora-g.jp/		 リゾートホテル、ビジネスホテルなど6施設運営。旗艦ホテルの鴨川グランドホテル、ホテル西長門リゾートはともに海岸沿いに立地、魅力ある露天風呂（大浴場／客室内）を備えています。 ▶ https://www.kamogawagrandhotel.ne.jp/						
西日本 カンテックグループ		中部 ユーエスマート		東日本 WEWORLD		 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 EdulinX		
 自然冷媒ヒートポンプ給湯機（エコキュート）の修理・施工・販売に関する事業などを展開。独自のブランド力とマーケティング力で、近畿、北陸、関東の各地域で高いマーケットシェアを有しています。 ▶ https://www.kantec.net/		 ショッピングモールなどの内部にインドアプレイグラウンド「キッズランドUS」を出店・運営。全国に店舗展開する業界リーディングプレイヤーです。 ▶ https://kidslandus.com/		 学習塾「信濃学院」を皮切りに、日本語教育事業、留学事業などを展開。日本語学校事業においては国内トップの規模、30年以上の歴史を持つ日本語教育業界のリーディングカンパニーです。 ▶ https://www.weworld.co.jp/						
西日本 エルソニック		中部 キート		東日本 仕閑		 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 ヴァティー		
 「サンキューマート」のブランドで全国に店舗展開。おしゃれでかわいいキャラクター商品、雑貨、衣類などを全品390円均一で販売しています。 ▶ https://www.elsonic.co.jp/		 愛知県名古屋市に本社を置く、ナーシングホーム運営企業。介護事業の他、保育事業、福祉用具事業、児童発達事業を展開しています。 ▶ https://www.lamore.jp/		 栃木県と岩手県に製造拠点を置き、茎わかめ、梅加工品、干し梅、ドライフルーツ、干し芋などのヘルシーな素材菓子を製造販売する素材菓子メーカーです。 ▶ https://sokan.jp/						
				東日本 ヴァティー		 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
				 教育とテクノロジーによる高付加価値の教育ソリューションを提供する企業。学習の形を再構築し、直感的でインタラクティブな学習体験を通じて、人々の学習方法の変革を推進しています。 ▶ https://www.edulinx.co.jp/						
				東日本 ヴァティー		 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
				 サービス付き高齢者向け住宅・介護付き有料老人ホーム（あんしんホーム、ふるさとホーム）およびデイケアサービス（ケアステーションあさひ）を運営しています。 ▶ http://www.vati.co.jp/						
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■ 本社・工場がある都道府県 ■ 支社・支店・営業所・店舗がある都道府県		東日本 創和プロジェクト		
						 ■				

NSSKによるファンドの組成

卒業先企業（2025年9月30日時点）

 ぶんか社 BUNKASHA	ぶんか社 ぶんか社グループは、漫画雑誌や漫画単行本、およびそれらの電子書籍を主力商品とし、その他にも情報雑誌や一般書籍を紙媒体・電子媒体により出版する総合出版社です。 ▶ https://www.bunkasha.co.jp/	 伊勢夫婦岩パラダイス 三重県の観光名所の一つである夫婦岩に隣接するサービスエリアで、お土産店、レストラン、水族館の複合レジャー施設を運営しています。 ▶ https://ise-seaparadise.com/
 八光殿 はくくわう	八光殿 大阪府八尾市を中心に多くのセレモニーホールを運営。「感動葬儀」をテーマに一人当たり約3,600時間の研修を修了したスタッフが付加価値の高いサービスを提供。葬儀施行件数は八尾市でトップシェアを有しています。 ▶ https://hakkoden.co.jp/	 ホテルキャッスルイングループ 「ホテルキャッスルイン」のブランドのもと、6つのビジネス・リゾートホテル（総客室数826室）を所有・運営するホテルグループです。 ▶ https://www.castleinn.co.jp/
 東海典礼 とうかいでんれい	東海典礼 愛知県豊川市を中心に多くのセレモニーホールを運営。自社の生花部門による高品質な生花祭壇を提供。葬儀施行件数は豊川市でトップシェアを有しています。 ▶ https://tokaitenrei.com/	 アイアイ・ティー 主に北海道内のスーパーマーケット向けに2事業を展開。石狩市を中心に3温度帯対応施設を含む7つの物流センターを持つ物流事業と、特定の青果カテゴリで道内トップシェアを有する青果卸事業です。 ▶ https://www.i-i-t-inc.jp/
 Welfare すずらん welfare	Welfare すずらん 名古屋市を中心に7施設の住宅型有料老人ホームと3施設の障がい者グループホームを運営。低価格で優良な介護サービスを利用者に提供しています。 ▶ https://w-suzuran.net/	 ヴァティー 2020年1月にヴァティー1&2の出口を完了しております。現在ヴァティー3として投資を継続中です。 ▶ http://www.vati.co.jp/
 丹羽久 にわきゅう	丹羽久 天然由来の素材を用いて製造された4種類のナチュラル系洗浄剤（重曹、クエン酸、セスキ、過炭酸ナトリウム）、消臭剤および塩を企画・販売しています。 ▶ https://www.niwakyu.com/	 マイティ・マイティ 顧客企業のDX・デジタルマーケティング施策を支援。製薬業界などのポータルサイトの構築・運用、Webシンポジウム・メルマガ配信、顧客マーケティング部門と一体となった事務局運営サービスなどを提供しています。 ▶ https://www.mighty2.com/
 クラフト kraft	クラフト 首都圏（東京、神奈川、千葉、埼玉）や関西圏（大阪、兵庫）、東海地方（愛知、静岡）など人口集積エリアを中心に約900店舗を有する業界大手の調剤薬局事業者です。 ▶ https://www.kraft-net.co.jp/	 日本エナジーコンポーネンツ 国内では茨城県と熊本県、海外では台湾に製造拠点を有し（子会社含む）、主に電力会社向け配電部品、スパライル部品、電気自動車（EV）用の急速充電器コネクタを製造販売する国内有数のメーカーです。 ▶ https://jecomponents.co.jp/
 DNS dns	DNS プロテインやアミノ酸をはじめ、スポーツ栄養学に基づくスポーツ食品・サプリメントを「DNS」ブランドで開発・販売しています。 ▶ https://www.daiichisankyo-hc.co.jp/site_dns/	

卒業先企業のα-ESGの成果

ビジネスの成果をもたらしている卒業先企業のα-ESGの取り組みの一部をご紹介します。

Japan Energy Components

日本エナジーコンポーネンツ

投資時期 2021年10月（2024年12月エグジット）

関連するSDGs

4 働きがい、
成長を
もたらす
教育

5 ジェンダー
平等

8 働きがい
経済成長

α-ESGの取り組み

従業員数

11%増加

平均勤続年数

20年

離職率

6.5%

- 職場環境の改善により生産性の向上、労務費の削減を達成
- ユースエール制度、くるみん制度の取得
- 「石岡つくばねハーフマラソン大会」への協賛を実施し、地域経済の職場活性化に貢献

EBITDA
成長率
80%

さくら薬局グループ

クラフト

投資時期 2023年3月（2025年6月エグジット）

関連するSDGs

3 すべての人に
健康と福祉を

5 ジェンダー
平等

8 働きがい
経済成長

α-ESGの取り組み

従業員数

7%増加

女性従業員比率

84%

離職率

13% 投資時より
3%低減

- 医療過疎地域への在宅訪問指導や服薬支援を通じて社会課題への取り組み実施
- 乳がんの早期発見・早期治療の重要性を啓発するための「ピンクリボン活動」に参加
- 離職率低減に向けての施策を推進

EBITDA
成長率
5%

mighty myT

マイティ・マイティ

投資時期 2022年1月（2025年5月エグジット）

関連するSDGs

5 ジェンダー
平等

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

α-ESGの取り組み

従業員数

50%増加

女性管理職比率

20% 投資実行時
から改善

- デジタルマーケティングを促進し、資源消費効率化に寄与
- 職場環境の改善により離職率の低下、残業削減

EBITDA
成長率
44%

私たちが構築してきた日本全国の地域エコシステムとの深い関係性は投資案件のソーシングにおいて重要な役割を担っております。NSSKは、投資検討時及び投資後の業務改善活動において自らを課題解決者と位置づけ、様々なステークホルダーと協力したうえで、そのニーズを理解し、適切に対応してきております。また、私たちは日本及び海外において投資先の将来の事業成長を促進するために必要な成長資金、人的リソースやビジネスプロセス改善のためのノウハウ・ツール等を提供し続けてきました。現在までおこなってきたこれらのコミットメントによって、NSSKは事業承継、スペシャルシチュエーション、新たに台頭してきている非公開化の分野においてリーダーとしての地位を確立しています。

パートナー
金森 亮治

パートナー
岩見 誠人

新規投資先のα-ESGの取り組み

NSSKでは投資実行前にすべての案件についてα-ESG デューディリジェンスを実施しています。

新規投資先3社のα-ESGの取り組みをご紹介します。



Apaman Property 株式会社
投資時期 2024年11月

Apaman Property 株式会社は1999年に創立された東京に本社を置く賃貸管理サービス企業であり、収益不動産オーナーの物件を管理し、入居付け、契約、原状回復工事などのプロパティマネジメントサービスを展開しています。日本全国にプロパティマネジメント拠点と約7万戸の管理物件を有する独立系賃貸管理サービス企業として第3位の企業であり、高い入居率ときめ細かなサービスによって不動産オーナーの収益最大化に寄与、高い信頼を得ています。

α-ESGの取り組み

投資実行前 α-ESGデューディリジェンスを実施しています。具体的なプロセスについては下記のとおりです。

具体的なプロセス		
項 目	内 容	結 果
α-ESGチェックリストによる全体調査	- NSSK作成の全66項目のα-ESGチェックリスト（SASBベース）による調査 - 各項目を網羅的にチェックし、会社のα-ESG取組状況把握や課題の特定を行う 3段階（A：SPA前にチェックすべき投資判断に影響を及ぼす、B：SPA後速やかにチェックすべき、C：SPA後確認）の優先順位付けを行う	ディールキラーとなる項目は検知されず
重要評価項目の抽出・特定	α-ESGチェックリスト全66項目からSASBの定める業種・セクター別のSASB Materiality Mapを基に重要評価項目の特定	「不動産・不動産サービス」セクターとして18項目を抽出
外部専門家を起用した分析・評価	- NSSKとパートナーシップを持つ外部ESG専門家を起用 - NSSKと専門家が一体となって重要評価項目（18項目）に関する情報収集を経て詳細な分析・評価を実施 - 評価結果に基づきマネジメントインタビュー・実務者を設計	会社としてのα-ESGの水準を専門家意見も踏まえて評価
インタビュー	社長、管掌役員や関連実務者へのインタビューを通じ、より詳細な現状やα-ESGへの意識を確認した上で、改善に向けた施策を議論	インタビュー、議論を通じて改善ポイントを特定・確認
最終報告	外部アドバイザーを活用した上記α-ESGデューディリジェンスプロセスを推進 Apaman Propertyでは投資実行に影響を与える重要なissueは検知されなかった	

投資実行後 投資後は速やかに、マネジメント層とともにα-ESGの重要性およびα-ESGデューディリジェンスで明らかになった課題を議論し、コアα-ESG KPIを設定した上で、目標達成に向けた実行計画の策定を実施しています。

- 女性活躍に向けた女性管理職や女性従業員数の拡大
- CO₂排出量の削減
- DX/AIXを活用したコールセンター効率化・顧客要望の速やかな対応

モニタリング

設定したα-ESG KPIや実行計画の進捗を月次でモニタリングし、目標達成に向けた施策の立案・軌道修正を機動的に実施します。

CO ₂ 排出量 (kg)※	2024年10月	2024年11月	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	2025年4月	2025年5月	2025年6月
Apaman Property	7,896	6,622	8,004	5,798	5,782	6,403	6,479	7,551	8,160
アメニティーハウス	2,911	2,757	3,161	2,787	3,419	2,991	3,458	3,034	3,619
マイハウス	1,021	1,116	1,029	1,001	1,305	1,334	1,092	998	1,204
スミタス	1,058	1,104	1,145	853	1,044	1,099	998	941	925
Class Home	—	—	—	—	—	—	765	376	376
ディー・プラン	567	454	643	339	566	576	525	509	593
エリアプランニング	—	91	114	154	170	238	192	115	42
ジェイケイホーム	—	—	—	—	—	—	350	—	—
東京ビッグハウスコミュニティ	—	—	—	—	—	—	738	—	—
合 計	13,453	12,144	14,096	10,932	12,296	12,651	14,597	13,524	14,919

従業員数

全従業員数	—	545	549	541	537	538	531	534	532
男性従業員数	—	213	214	212	213	214	213	211	211
女性従業員数	—	332	335	329	324	324	318	323	321
全管理職数	—	90	92	92	92	92	89	90	90
男性管理職数	—	83	84	84	84	84	81	81	81
女性管理職数	—	7	8	8	8	8	8	9	9

企業統括・コンプライアンス

コールセンター受電数	3,436	3,242	3,506	3,604	3,630	4,295	3,630	3,663	3,611
代表者宛て書面	—	—	—	—	—	—	6	3	3

※ ガソリン1リットルを2.3kgで算出

今後の予定

- 現状CO₂排出量の測定はガソリンに限定されているため、今後各物件や拠点内での利用を含めた全社的なCO₂排出量を測定できるよう、外部専門家を起用します。
- より女性が活躍しやすい企業への変革を目指し、人事・評価制度のアップデートや会社カルチャーの改革を推進します。



株式会社キート
投資時期 2024年10月

株式会社キートは、愛知県名古屋市に本社を置く、ナースিংホームの運営を行う企業です。介護事業の他、保育事業、福祉用具事業、児童発達事業を展開しています。2012年1月の設立以来、名古屋市を中心にナースিংホームを展開し、入居者への医療サービスの提供、および訪問介護・訪問看護サービスを提供しています。名古屋市におけるドミナント戦略および充実した医療サービスによって、高い入居率・高単価を実現しています。

α-ESGの取り組み

キートでは、従業員が働きやすく長く就労できる環境づくりを推進しており、その取り組みの一つとして、従業員が利用できる保育園を自社で運営しています。育児中の方の就労ハードルが下がるため採用面でプラスに寄与しているとともに、離職率低減にも貢献しています。その他、外国人を含む多様な人材の雇用促進や環境配慮など、今後もさらにα-ESGの取り組みを推進していきます。



株式会社ウィザス
投資時期 2025年9月

株式会社ウィザスは、1976年に大阪府で設立された、広域制通信制高校、学習塾を主力事業とする教育カンパニーです。1976年に学研塾（現・第一ゼミナール）として学習塾事業を開始し、2004年には広域通信制高校事業に参入しました。その後、日本語学校や通訳・翻訳、法人向けICT教育サービスなどへと事業領域を広げ、幅広い教育サービスを展開しています。

α-ESGの取り組み

株式会社ウィザスでは、通信制高校での地域機関との連携授業や、不登校・中途離学者への学び直し支援などを通じて社会課題の解決に取り組むほか、今後はエネルギー利用の効率化や地域連携・多様性支援・ガバナンス強化を通じて、α-ESG経営をいっそう推進していきます。

SDGsへの貢献によるインパクトの創出

注力すべきSDGsに沿った取り組みを実行し、社会的成果の達成を目指しています。

地域経済の活性化につながる、潜在力の高い日本の魅力的な企業を対象に、日本の地域経済の発展に資する投資と具体的な経営支援を実行しています。我々は投資の影響を測定・管理するため、各企業がSDGsに果たす貢献度を追跡しています。通常、各企業は1～2つのSDGsへの貢献を目標としています。

インパクト投資とサステナビリティ経営

インパクト投資とは

インパクト投資とは、財務的リターンを追求しながら、同時に社会的・環境的な課題の解決に貢献することを目的とした投資行動です。NSSKの投資先では、それぞれの業種、規模、そして地域特性を踏まえ、固有の課題解決に向けた取り組みを進めています。こうした多様な企業活動を尊重しつつ、当社はその挑戦を後押しし、持続的な成長を実現できるよう支援しています。さらに、NSSKは投資先企業の成長を図るとともに、そこで創出される価値を投資家に還元し、適切なリスク調整後リターンを生み出すことを目指しています。私たちは、投資先企業の発展と投資家への成果還元の双方を実現することで、経済的価値と社会的価値の両立を追求してまいります。

社会的成果

&

財務的リターン

サステナビリティ経営とは

サステナビリティ経営とは、企業が重要なサステナビリティ課題の管理方法とステークホルダーとの関わり方を指すもの。NSSKではSDGsの中でも8つのテーマを重点目標に設定し、社会的成果の達成に注力しています。

中小企業支援	人材教育	環境	コンプライアンス強化
雇用創出	デジタル化	女性活躍推進	ヘルスケア分野

私たちは、地域インパクトファンドの構築を可能にし、日本全国の地域経済への貢献を支えてくださった数多くの民間および公共セクターのパートナーに、引き続き深く感謝しています。この取り組みにより、NSSKは日本のミドルマーケットにおけるリーディング・プライベート・エクイティ・ソリューション・プロバイダーとしての地位を確立しました。私たちは、地域におけるこのリーダーシップを維持することを約束します。

パートナー
松永 安彦



SDGsとインパクト投資

SDGs目標	社会的成果	NSSKの取り組み
	中小企業支援	- 投資規模 10 億円未満の中小企業をターゲットとした組合 - NSSK のノウハウ・リソース・ネットワーク等を活用し、世界の優良企業が採用し、グローバルにも通用する業務改善ノウハウ (NSSKバリューアップ・プログラム=NVP®) を中小企業に対して提供
	雇用創出	- 従業員数を一つのKPIとして捉え、売上の拡大と共に雇用の創出に注力 - 人事制度の見直し、業績連動報酬・インセンティブプランの導入等により、働きやすい環境づくり・離職率の抑制を推進
	人材教育	- 従業員にとって、働きがいのある労働環境の構築と、必要な職業教育の提供を支援 - NSSK フィロソフィー・プログラム (NPP) 詳細はP.45をご覧ください - 教育・研修制度の体制構築・強化
	デジタル化	- 各業界の最先端の技術・ノウハウを把握し、投資先へ適用 - デジタルマーケティングの強化 - データに基づく経営判断の促進 (システム/クラウドの導入)
	環境	- ESG 多様性 & インクルージョン委員会を中心に、投資実行前に α-ESG 課題の分析を行い、投資後は α-ESG 強化の取り組みを支援 - 食品廃棄量の減少/節電・節水/ペーパーレス化/環境保全を意識した製品づくり等
	女性活躍推進	- 役職員における女性の活躍推進にも積極的に取り組む - 働きやすい職場環境づくりの啓蒙活動 (ハラスメント防止研修など) - 投資先での積極的な女性管理職の登用
	コンプライアンス強化	- 中小企業において不足している、コンプライアンス体制の強化を支援 - 内部管理等の幹部人材の紹介 - 会計監査の実施/内部統制強化/労務管理体制の徹底/反社会的勢力の排除体制の構築 ※すべて 100% 実行済み
	ヘルスケア分野	- ヘルスケア分野を今後の成長事業領域、投資テーマとして捉え、積極的に投資検討を行う方針 - NSSK グループのヘルスケア分野における知見の活用

NSSK α-ESG ダッシュボード

	従業員数の増加率※1	女性従業員比率	女性・マイノリティ CEOs/COOs 比率※3	賃金上昇率※4,5 (投資実行時を 100 とした場合)
2025年6月時点	+17% (19,756名) ※2	74%	20%	111.4
目標値	+12%～15%	75%～80%	30%～40%	—

※1 各社 (エグジット先含まず) における投資実行時と2025年6月時点の比較 ※2 2025年6月時点における投資先 (エグジット先含まず) 従業員数の合計値
※3 投資先企業のうち女性・外国人経営者 (CEO/COOs) を有する企業の比率 ※4 投資実行時と各社の直近年度の比較の増減率平均
※5 厚生労働省が実施している全国主要産業に従事する労働者を対象とした賃金構造基本統計調査の結果、令和元年から令和6年の賃金増減率は+7.3

NSSKでは、事業において本質的な価値を生み出すことが実証されている α-ESG プロセスを開発してきました。複数の主要セクターにわたる豊富な実績により、NSSKは日本のプライベート・エクイティ業界におけるリーダーとしての地位を確立しています。実際、NSSKの投資成果の大きな源泉は、持続的な価値創造を推進するために NVP® チームと緊密に協働してきた経営陣と従業員パートナーの並外れたコミットメントによるものです。

シニアパートナー
徳山 一晃



サステナビリティへのコミットメント

環境課題への取り組み

全投資先企業において2030年までに
温室効果ガス(GHG)30%削減を目指します。

NSSKでは、気候変動をグローバルな社会課題と認識し、投資先企業においてさまざまな取り組みを実行すること
で、社会貢献することが責任ある投資であると考えています。

達成に向けた
アプローチ

各社固有の手法でGHG 排出量を算定、
削減施策を検討

1.GHG排出量の可視化



- 電気・ガス・重油・ガソリン等の使用量から算出
- データを把握できない場合は延べ床面積から推計値を算定
- 複数拠点があるところは拠点別に算定

2.削減施策を検討

省エネ推進と排出原単位を下げる施策の組み合わせにより削減を行っていく。

	活動量	排出源単位
Scope1	省エネの推進 ・使用量の削減 ・使用効率の改善 電化	排出原単位の低い 燃料への転換 石炭→LNG LNG→水素
Scope2	省エネの推進 ・使用量の削減 ・使用効率の改善	再生可能 エネルギーの導入 排出原単位ゼロ

素材で、にっこり。
Sōkan 事業活動を通じたサステナビリティの推進

株式会社壮関では、持続可能な社会の実現を目指し、事業活動を通じてサステナビリティの推進に積極
的に取り組んでいます。その一環として、地域社会との連携を深めるべく「とちぎ SDGs 推進企業」に登
録し、社会的課題の解決に貢献しています。特に製造業として環境負荷の低減に向けた取り組みを強化
しています。なかでも、CO₂排出量の削減、廃プラスチック、フードロスに向けては、エネルギー効率の改
善や再生可能エネルギーの活用、製造工程の見直しなど、具体的かつ継続的な施策を推進しています。
これらの活動を通じて、地域と地球の未来に貢献できる企業を目指しています。



具体的な施策

再エネ・省エネの取り組み

各工場の照明をLEDライトに変更する取り組みを行うことで、約8%
の電気使用量の削減を見込んでいます。

廃プラスチックの火力発電燃料化

工場から出るビニールやフィルムなど廃プラスチックを火力発電のリサ
イクル燃料として活用しています。

嫌気性排水処理施設のメタンガスを利用したボイラー（大槌工場）

工場から出る排水を嫌気性排水処理（メタン発酵）し、そのメタンガス
を使ったボイラーの熱を利用しています。

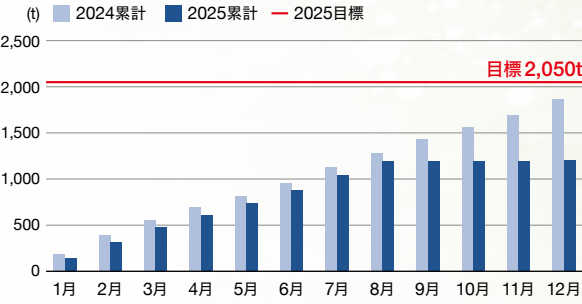
太陽光パネル導入による再生可能エネルギーの有効活用

本社工場と大槌工場の屋根に太陽光パネルを設置することにより、約
15%の電気使用量の削減を見込んでいます。

CO₂排出量の算定

電気・ガス・灯油・重油の使用量からCO₂ 排出量を算定してい
ます。

CO₂ 累計排出量比較



クラフツ株式会社
craftz 企業の環境価値向上への取り組み

クラフツ株式会社では、企業の環境価値向上のため、さまざまな取り組みを実施しています。

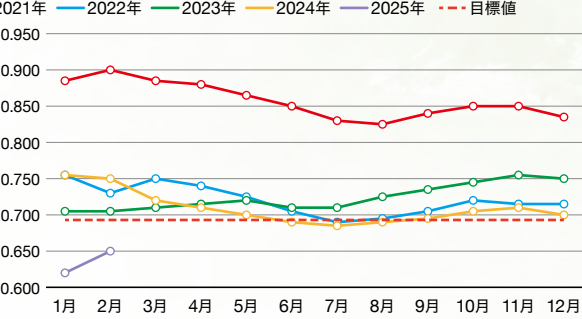
- 省エネルギー化の促進：エネルギーの消費量と排出量の削減
- 省資源化の促進：原料、副資材のロスの最小化、在宅勤務の定着に伴うペーパーレス化の推進
- 環境法制遵守：容器包装リサイクル法、廃棄物処理法、水質汚濁防止法、大気汚染防止法の遵守
- エコロジー：揮発性有機化合物（VOC）の処理と代替エネルギーへの転換、照明設備のLEDへの転換、プラスチック資源循環促進法に沿ったごみのリサイクル活用



CO₂排出量の算定

事業所ごとに電気、水道、都市ガス、灯油、ガソリン、LPガスの使
用量に排出係数を乗じて計算しています。

国内グループ累計推移



NSSK Awards 2025

たゆまぬ挑戦で、未来へ。

NSSKでは、優れたパフォーマンスを達成した
投資先企業をたたえ、
テーマごとに表彰制度を導入しています。
本年度の受賞企業をご紹介します。

NSSK Awards 2025 受賞企業

売上増加部門
株式会社社関

組織的な営業活動の徹底と
マーケティング強化による
大幅な売上成長

素材で、にっこり。
Sōkan

新規事業・新規投資部門
クラフツ株式会社

新工場の安定稼働による
過去最高売上・EBITDAの達成

 クラフツ株式会社
craftz

人材育成・補強部門
株式会社 WEWORLD

自社マーケティングチームによる
日本語教員の大幅採用に成功

VIEWWORLD

オペレーション効率化・
合理化部門
株式会社鴨川グランドホテル

サービスの改革と運営効率化
による人件費の削減に成功

 鴨川グランドホテル

α-ESG 部門
クラフト株式会社

医療過疎が進む地域の課題解決へ
薬剤師の役割を探究

 さくら薬局グループ

NSSK Awards - Case Studies

売上増加部門受賞

株式会社社関
組織的な営業活動の徹底と
マーケティング強化による大幅な売上成長



海と大地の素材を生かし、
おいしさとすやかさをお届けしています

社関は事業を通してSDGsの達成を目指し、社会の課題解決に取り組んでいます。茎わかめやスナック梅など、海と大地の素材を生かしたヘルシーで栄養価の高い素材菓子・食品を製造・販売するNo.1カンパニーです。自社ブランド商品や小売先PB・食品メーカーOEM商品などを幅広く展開、コンビニを中心に扱われています。



受賞理由

購買データ分析やSNS活用、営業拠点新設などにより順調に売上を拡大

- 2021年度53億円だった売上高は年平均約+11%で成長し、2024年度には74億円を達成。2025年度もより高い売上達成に向けて順調に推移しています。この売上増加の実績が評価されました。
- 購買データの分析やSNSによる顧客との直接コミュニケーションによって顧客のニーズを正確に把握。商品開発とブランド提案を実現し、売上を拡大しました。PDCAを早期に回す仕組みで効率的な商品開発を可能にしました。
- 営業スタッフの拡充を行い、営業拠点も東京に続き大阪に新設。こうした規模拡大を背景に営業KPI浸透や属人的知見の共有などチーム間の連携を強化。組織型営業への組織の整備で、さらなる成長を目指しています。

α-ESGの取り組み

- 育児支援制度の整備や女性活躍推進活動により、2024年度の厚生労働省「くるみん認定」を取得。育児休業取得率100%（男性、女性とも）、職場復帰支援も整備され、ライフイベントと両立したキャリア形成が可能な環境です。（2024年度男女生き活き企業認定、2025年健康経営事業所認定も取得）
- 東京都渋谷区の前宿外苑中学校と連携し、生徒が栽培した紅はるかを活用した干し芋を商品化。食育・SDGs教育と地域連携を融合した、持続可能な循環型プロジェクトとして注目されました。
- 岩手大槌工場でデマンド制御システムを導入。自動制御により、冷凍・冷蔵設備などの使用電力を最適化し、月間約1万kWh、CO₂排出量4トンの削減を実現しています。
- 2025年8月に本社工場で新たな空調省エネシステムの導入を予定しています。



岩手大槌工場では冷凍庫・冷蔵庫のデマンド制御で省エネを実施しています



男女育児取得率100%、働きやすい職場作りを推進して、くるみん認定を取得しました



原宿外苑中学校の皆さんが作ったさつまいもと一緒に商品化して販売しました

新規事業・
新規投資部門受賞

クラフツ株式会社
新工場の安定稼働による
過去最高売上・EBITDAの達成



確かな技術と想いで、人と社会の暮らしを包みこみ、
未来の安心を届けます

クラフツ株式会社は90年以上、軟包装の分野で人々の暮らしを支え続けてきました。“パッケージを超えた価値”として「Beyond Package（ビヨンプア）」をスローガンに、単なる包装にとどまらず、生活を豊かにする新しい価値の創出に挑戦しています。食品、菓子、ペットフード、医薬品、その他消費財向けなどを扱い、国内に4拠点、タイに3拠点を置き、アジア諸国を中心に事業展開しています。



受賞理由

国内・タイに設立した新工場の安定稼働で大幅な業績向上を実現

- 国内、タイともに軟包装パッケージ市場は堅調に拡大傾向にあり、生産キャパシティを超える受注残高を背景に、長野新工場およびタイ第3工場を設立しました。これら新工場の安定稼働により2024年度は過去最高となる売上・EBITDA（前年比+14.9% / +28.2%）を達成しました。
- 新工場を安定軌道に乗せるために、①工場間での密な連携を促進しながら、②クラフツグループ全体の組織体制を抜本的に変革し、③日本では営業強化による受注増、④タイではタイ国外への積極的な拡販、などに取り組み、大幅な業績向上を実現しました。

α-ESGの取り組み

- CO₂排出量をKPI設定して毎月モニタリングし、そのデータを基に改善に向けた取り組みを実施しています。VOC処理設備の導入やLED照明、省エネ対策、ペーパーレス化への対応など、社会的・環境的価値の向上にも注力しています。クリーンエネルギーを導入し、消費電力量を減少させるべく、工場本体や隣接している緑地に太陽光パネルの導入も検討しています。
- 海外を中心に包材のモノマテリアル化の要請は高く、分別・再資源化を容易にすることで、地球にやさしくリサイクル可能な包材の開発・研究を行っています。
- 有給休暇取得率や残業時間、女性従業員比率・女性管理職比率、障がい者雇用比率などにKPIを設定し、モニタリングを続けています。女性従業員比率は38%（2025年6月時点）と製造業では高い水準となっています。また、在宅勤務制度やメンター制度も整備しており、多様な人材が安心して長期にわたって働ける職場環境を目指しています。



NSSK Awards - Case Studies

人材育成・補強部門受賞

株式会社 WEWORLD
自社マーケティングチームによる
日本語教員の大幅採用に成功

WEWORLD

「世界をつなぐ、夢と人づくり」を理念に
国際社会の発展に貢献

株式会社 WEWORLDは、国内トップシェアを誇る日本語学校
であるISIの運営を始めとして、大学・専門学校、中国人留学生
向け予備校であるニューライン、外国人材紹介WEWORLD
Global Reach等の事業を展開する教育プラットフォーム企業
です。グローバル人材育成のための教育環境の創造を通じて、
人々の夢の実現と国際社会の発展に貢献しています。



受賞理由

ISI新宿校開校による定員数拡大とそれに伴う日本語教員採用に成功

WEWORLDグループは、ISI新宿校（日本最大の日本語学校）開校等により、定員数を大幅に拡大いたしました。
それに伴って日本語教員数も拡大すべく、

- ①マーケティングの管理体制強化
- ②募集体制を本部主導へと変更
- ③訴求すべきポイントの明確化

によって、20%以上の採用に成功し、今回NSSK Awardの受賞に至りました。

α-ESGの取り組み

- 女性従業員比率・管理職比率を高め、ダイバーシティに配慮した職場環境を目指しています。2024年度の女性従業員比率70%、管理職比率50%に設定したKPIを達成し、理想的な環境を実現しています。
- 学生一人当たりの紙使用量・電気使用量をトラックすることで、環境にも配慮した事業運営を行っています。2024年度の学生一人当たりの紙使用量は前年比5%減、電気使用量は2019年度比11%減を達成することができました。
- WEWORLDは2022年から、UNHCRの支援を受けて難民支援活動を行っています。これまで46名の日本へ避難してきた方々に、日本語教育を無償で提供しています。



2024年「Welcome Japan CxO Council」に
参画



ごみ拾いイベントを開催

オペレーション効率化・
合理化部門受賞

株式会社鴨川グランドホテル
サービスの改革と運営効率化による
人件費の削減に成功

鴨川グランドホテル

「お客様は我が家の大切な生涯のファミリー」を
理念に、地域No.1のリゾートホテルを目指して

株式会社鴨川グランドホテルは、いずれも客室から美しいオー
シャンビューを楽しめる千葉県の鴨川グランドホテルと山口県
のホテル西長門リゾートを所有・運営しています。加えて、東京
都および千葉県にて4施設のビジネスホテルやコンドミニアム
も展開。全社を挙げて真心のサービスの提供に努め、心安らぐ
ひとときをお客様に提供しています。



鴨川グランドホテルからのオーシャンビュー

受賞理由

伝統的な高級旅館から、時代の変化に対応したサービス形態へ移行

鴨川グランドホテルは、長年にわたり高級旅館として布団上げといった伝統的サービスを維持してきましたが、現代の宿
泊者ニーズに必ずしも合致しない側面や、食事会場と調理場の分断によるスタッフへの負担増といった課題を抱えていま
した。これに対し、時代の変化に対応したサービス形態への移行を進めるとともに、経営の見える化を通じて不採算業務
を徹底的に見直しました。

これらの取り組みにより、オペレーションやコストの最適化が進み、人件費率を過去2年間で約10ポイント改善する成果
を上げています。こうした継続的な改善の積み重ねが高く評価され、今回のNSSK Award受賞へとつながりました。

α-ESGの取り組み

- 女性従業員や外国人従業員の登用を推進し、ダイバーシティに配慮した職場環境を整備、現在女性従業員比率は全体の約50%、外国人従業員比率は約10%にまで増加しています。
- レストランでは地産地消を積極的に推進し、鴨川グランドホテルにおいては鴨川市の鮮魚店から仕入れた魚や、地元農家から年間を通じて仕入れる野菜を使用した料理を提供しています。
- 2025年7月には、小さなお子様とご一緒に宿泊されるお客様向けに「ベビールーム」を新設し、共用部には新たにキッズコーナーを設け、小さなお子様もお楽しみいただける空間を提供しています。



地域の恵みを堪能する魅力的なバイキング

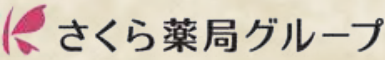


小さなお子様連れ向けのベビールーム

NSSK Awards - Case Studies

α-ESG 部門受賞

クラフト株式会社
医療過疎が進む地域の課題解決へ
薬剤師の役割を探求



地域に根ざした「開かれた薬局」を目指して

クラフト株式会社は「さくら薬局」の運営を通じ、身近な薬と健康の良きアドバイザーとして、人々の健康づくりやセルフメディケーションを支援しています。特に力を入れているのが在宅医療で、医師や看護師、ケアマネージャーなどと連携し、薬剤師が患者さんのご自宅に伺い、服薬指導や残薬確認を行うことでチーム医療の質の向上に貢献しています。



受賞理由

北海道しむかわの占冠村における医療過疎の課題解決に向けた取り組み

北海道の占冠村という薬局がない地域があります。いわゆる医療過疎地域ですが、当自治体からの要請を受け、薬剤師の立場から地域の支援を行いました。占冠村の患者さんは、村に薬局がなく、薬に関して十分な知識が普及していなかったため、多剤服用や重複服用といった問題が頻発し、またそれに伴う医療費増加などの課題も生じており、私たちは在宅訪問サービスや服薬指導を通じて、これらの課題へ向き合いました。その取り組みが認められ、2025年には国民健康保険保険者努力支援制度交付金を財源として議会承認を得ることができ、現在は多職種連携を含めたさらなる地域支援活動を進めています。今後、過疎地域の拡大が危惧される我が国で、課題解決策の一事例になるものと考えています。

α-ESGの取り組み

- 2020年7月からレジ袋を必要とされる方に、バイオマス素材を配合したレジ袋を有料で提供。この収益金を公益財団法人日本環境協会「こどもエコクラブ」に寄付し、環境保全活動にご活用いただいています。
- 調剤薬局から乳がんの早期発見・早期治療の重要性を呼びかけるため、2010年から「ピンクリボン活動」を開始し、今年で15年目となります。
- 離職率の改善に向けた取り組みを進めています。2024年度（2025年3月期）の離職率は13.3%となり、2022年度より3%以上減少しました。さらなる離職率低減に向けた施策として以下を推進しています。
 - 会社発足以来初めてとなる決算賞与を支給
 - 離職時のアンケート調査による離職理由の把握、対策
 - 社内懇親会の積極的な促進（会社による費用負担の強化）



さくら薬局で推進している在宅医療の様子。薬剤師が個人宅に直接伺い服薬指導や残薬確認を実施



占冠村で実施していた啓発活動の様子。地域の方々の催しに併せて薬剤師が訪問し、薬の相談に対応

経営者からの受賞コメント

株式会社WEWORLD

「世界の人々が共に学び、成長できる機会を創出する」

当社は1977年の創業以来、世界120以上の国と地域から4万人を超える卒業生を輩出し、現在ではグループ全校で1万人を超える学生が学んでおります。

2021年にNSSKからご出資をいただいて以来、共に歩む成長パートナーとして、人材補強、追加買収、積極的な設備投資を通じた事業拡大を支援いただきました。この度、当社の成長を支える「多様で優秀な人材の採用・育成の取り組み」が評価され、NSSK Awardを受賞できましたことを大変光栄に存じます。

少子高齢化の進行により、日本全体が人材不足という大きな課題に直面するなかで、当社はグローバルに人材を集め、その多様性を生かすことで教育サービスを充実させ、日本社会の持続的な成長にも貢献したいと考えております。今後もNSSKと共に、「世界の人々が共に学び、成長できる機会を創出する」を広げていくべく、挑戦を続けてまいります。



代表取締役社長
荻野 正昭 様

株式会社鴨川グランドホテル

業績も大きく更新。会社と従業員がともに成長を遂げています

当社は鴨川グランドホテルやホテル西長門リゾートという旗艦施設を所有・運営してきました。NSSKとパートナーとなり、経営の見える化やサービスの見直し、料飲部門を中心としたオペレーションの効率化を推進し、現代のお客様ニーズに即したサービスへと進化させてきました。その結果、業績はコロナ禍前を大きく超えて更新し続け、会社と従業員がともに成長を遂げています。この成果が認められ、NSSK Awardを受賞できたことを大変誇りに思います。



代表取締役社長
鈴木 健史 様

クラフト株式会社

今後も患者さんの利便性向上、地域医療へ貢献していきます

当社は1982年の創業以来、「信頼され 求められる薬局でありたい」との想いのもと、さくら薬局の屋号での調剤薬局の経営を通じて社会への貢献を行っております。

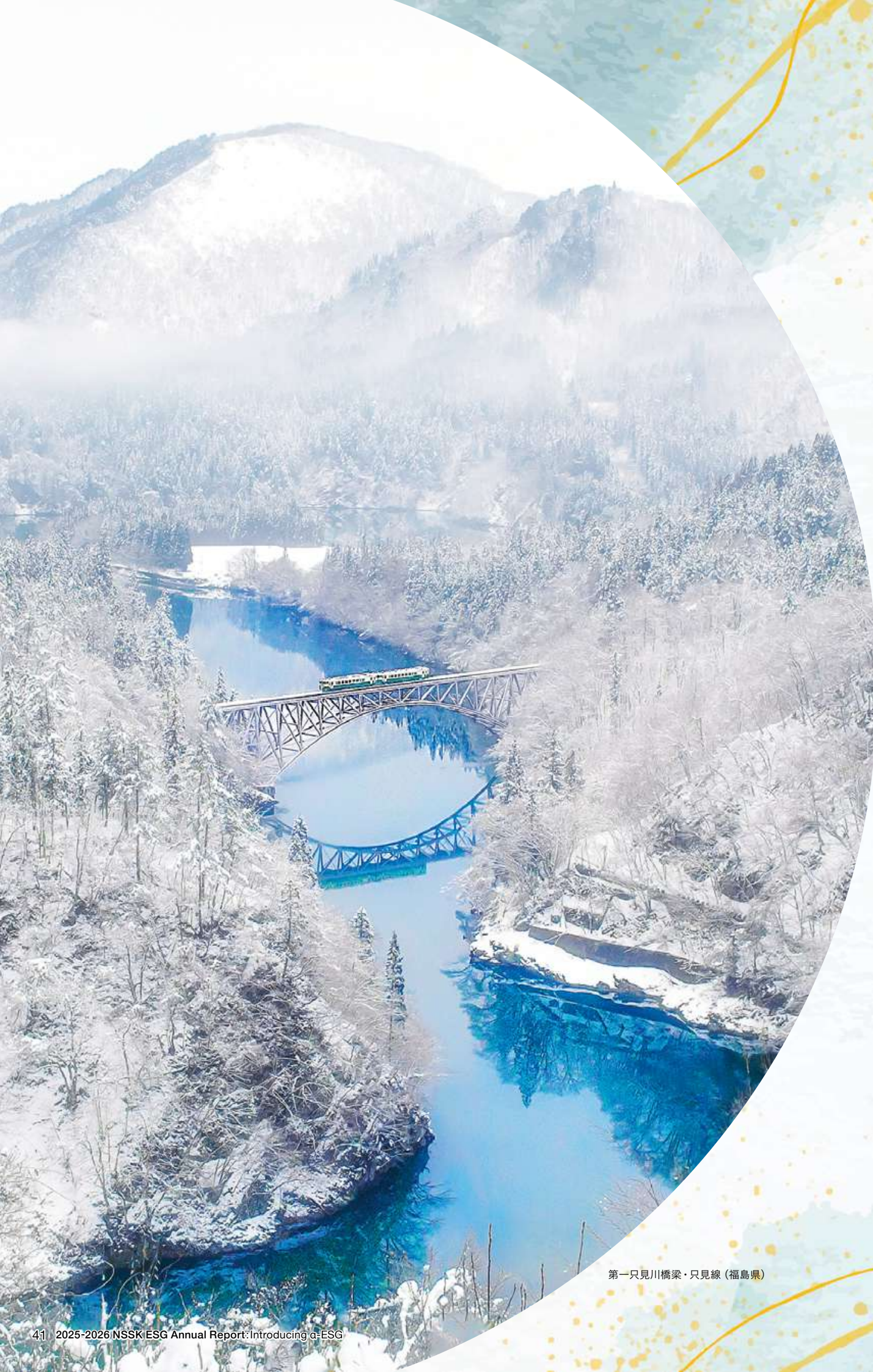
2023年にNSSKからスポンサーとして出資を受け、経営支援を受けるなかで会社としてさらなる成長を遂げ、2025年に業界No.1のアイン薬局さんと一緒になる形で、NSSKグループを卒業しております。

今回、医療過疎が進む占冠村で行政と協力し、地域医療に貢献した取り組みを評価いただき、NSSK Awardを受賞することができました。現場の薬剤師が主体的に行動し、実現した成果が認められたことを大変誇りに思います。

今後も、従業員の働きやすい環境づくりに積極的に取り組み、患者さんのさらなる利便性の向上や地域医療への貢献を図ってまいります。



代表取締役会長
新井 勝 様



Philosophy

NSSKのフィロソフィー

- 43 NSSKフィロソフィー
- 47 NSSKのAlpha-Generating ESG推進組織

第一只見川橋梁・只見線（福島県）

NSSKフィロソフィー

NSSKでは、投資活動を通じて利益を追求するだけでなく、「人間として正しいことを貫く」をモットーとして、その活動を通じて社会への貢献を考えています。このために、日々何を指針にすべきかを検討し、NSSKメンバーが一丸となり、「NSSKフィロソフィー」を制定しました。私たちはこのフィロソフィーを投資先の経営者や従業員と共有し、すべてのステークホルダーから信頼と期待に応えることを誓っています。

Mission NSSKミッション

人として正しいことを貫き、
すべてのステークホルダーの物心両面の幸福を
最大限追求すると共に、
世界トップクラスの投資運営会社を築きあげ、
α-ESG（環境・社会・企業統治）の推進に貢献する

Values NSSKとしての行動規範

1. 利他の心を判断基準にする：人として何が正しいか
2. 謙虚にして奢らず
3. 正しい勇気を持つ
4. 誰にも負けない努力をする
5. 常に高い目標にチャレンジする
6. 常に明るく前向きに、素直な心で
7. 仕事・人生の成功の方程式：能力 × 熱意 × 考え方
8. 公平で風通しの良いファミリー的な組織づくり



Management NSSKグループ企業の経営5箇条

～グッドカンパニーをグレートカンパニーにするために～

1 事業としての社会的意義

事業の社会的意義を訴求することで、本質的なやる気を引き出します。社会的に意義のある事業に関与しているからこそ、やりがいをもって働くことができ、ひいては満足度も高まり、家族や友人などの周囲の人に対しても自身の仕事に誇りをもつことができます

2 持続的な利益の最大化

高収益体質であればこそ、未曾有の事態や経営環境の大きな変化を乗り越えられる財務基盤がつくられ、一人ひとりの生活を守ることができます

3 経営者マインド

従業員の一人ひとりが自らの事業の運営に経営者マインド（当事者意識）をもって参画し、持続的な利益の最大化に努める経営を目指します

4 経営の見える化

財務数値だけではなく、主要な経営管理指標（KPI）を適切に把握できるように「経営の見える化」を早期に実現することが重要です。財務数値には表れない小さな変化を早期に発見することで、チャンスをものにし、困難に対しても適切に準備することができます

5 変化への適応

環境変化に対応するためには、ダーウィンの「進化論」のように、自らを常に変化させて適合していくことが大切です。会社が永続的に存続していくためには、常に自社の製品・サービス、組織、考え方を進化させていく必要があります

NSSKフィロソフィー

NPP NSSKフィロソフィー・プログラム



NSSKフィロソフィー・プログラムの理念

NSSKでは、従業員の教育と人材開発を支援するアプローチとして「NSSKフィロソフィー・プログラム（NPP）」を制定しています。NPPの理念は「人間として正しい生き方をする」という人生哲学です。NSSKに関わる、すべての従業員がこの人生哲学に従うことを奨励しており、それが結果として従業員一人ひとりの幸福と、会社の繁栄につながると考えています。

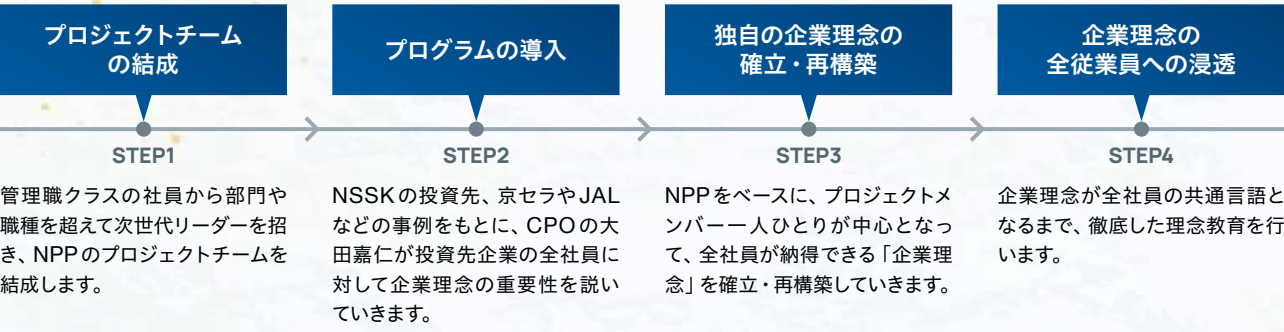
NSSKフィロソフィー・プログラムの内容

NPPは、京セラで稲盛和夫氏を30年以上にわたって支えてきたNSSKのチーフコーポレートフィロソフィーオフィサー（CPO）である大田嘉仁が中心となり、6つの要素をベースに開発されたものです。企業理念の重要性とその策定・浸透方法を説き、投資先企業の独自の「企業理念」の確立を支援します。



NSSKフィロソフィー・プログラムの目的

NSSKのアプローチ



大田嘉仁CPOによるNPP講義の様子（株式会社キート）

CPOメッセージ



大田 嘉仁
特別顧問
チーフコーポレートフィロソフィーオフィサー（CPO）

30年近く、側近として京セラ（株）創業者稲盛和夫氏を支え、JAL再建時には、稲盛会長補佐として、意識改革などを主導。直近では、経営危機に陥ったReFaブランドで有名な（株）MTGを再建。京セラ株式会社取締役、日本航空（株）専務、京セラコミュニケーションシステム会長、（株）MTG会長などを歴任。著書に「JALの奇跡」「稲盛和夫 明日からすぐに役立つ15の言葉」「運命をひらく生き方ノート」がある。

真の全員参加経営を目指して

企業とは人間の集まりであり、突き詰めて考えれば、そこに集う社員の意識の集合体だと言えます。本気で会社の発展を願い、仲間のために尽くそうとしている社員が集まっているのか、そうではなく、自分の都合を優先するような社員が集まっているのかで、企業の盛衰は決まっていくのです。私はJALの再建で、主に意識改革を担当したのですが、そのことが真実であると実感することができました。

JAL再建では、「経営の神様」とも称される稲盛和夫さんの哲学は、予想以上のスピードで全社員の心の中に浸透し、全社員の心が変わり、行動が変わり、全員参加経営が実現し、誰もが不可能と断じていた再建は、わずか3年で達成されました。

私は幸運にも稲盛和夫さんの近くで30年近く一緒に仕事をすることができ、JALの再建では、改めて経営哲学の重要性を認識することができました。NPPは、私の経験をベースに、投資先の経営陣の方々と、どうすれば社員の意識を高め、真の全員参加経営ができるのかを議論し、実践していくためのプログラムであり、すでに多くの企業で大きな成果を生み出しています。経営者の皆様が真摯にNPPの実践に取り組めば、経営改善に大きく貢献できると確信しています。

NSSKのAlpha-Generating ESG推進組織

ESG多様性&インクルージョン委員会の設置



NSSKは α -ESGを推進するための組織として「ESG多様性&インクルージョン委員会」を設けています。この委員会において、 α -ESGに関する基本方針の策定や課題の継続的なレビュー、 α -ESG関連情報の社内への共有と課題対応のモニタリング、投資先の α -ESGチェックリストの継続的なアップデート、 α -ESGの取り組みに対する定期的なステークホルダーへの報告などを実施しています。

ESG多様性&インクルージョン委員会の体制

「ESG多様性&インクルージョン委員会」は、NSSK代表の津坂純を議長として、各部門（投資チーム、IRチーム、ビジネスサポートチーム）のメンバーに加え、チーフコーポレートフィロソフィーオフィサーおよびESG監査役などの9名で構成されています。この委員会では、NSSKおよび投資先企業・投資先候補における α -ESGの問題について議論がなされています。また、グローバル企業で豊富なCFO経験を持つ伊藤隆治がESG監査役を務め、NSSKの α -ESG関連の活動を監査しています。



具体的な活動内容

- 月・1回のESG委員会にて、NSSKおよび投資先企業の α -ESG戦略、 α -ESG推進のための仕組みづくりについて討議
- ESG監査役による投資先企業の監査の実施
- 月1回の各投資先企業の経営会議における α -ESG KPIのレポート
- 投資先の経営者および従業員に対する α -ESG研修の実施
- 署名機関への開示書類の手配

NSSK ESG委員会メンバー



津坂 純 Jun Tsusaka
代表取締役社長
ESGコミッティー議長



伊藤 隆治 Takaharu Itoh
ESG監査役



大田 嘉仁 Yoshihito Ohta
特別顧問
チーフコーポレート
フィロソフィーオフィサー (CPO)



秋山 翔平 Shohei Akiyama
パートナー
NVP/管理ビジネスサポートチーム
統括責任者



松田 清美 Kiyomi Matsuda
ファイナンスディレクター
ESGリーダー



佐藤 くらま Kurama Sato
シニアマネージャー
ESGリーダー



石井 謙吾 Kengo Ishii
ディレクター
IRチーム統括責任者



岩見 誠人 Makoto Iwami
パートナー
投資チーム共同統括責任者



伊藤 憲子 Noriko Ito
マネージャー
NVP実行支援チーム

Message

ESG監査役より

NSSKは α -ESGの重要性、必要性を真摯に認識しています。NSSKの α -ESGへの取り組みは企業文化や会社の価値観、世界観にまでなっていると確信しています。 α -ESGはいまや企業投資の新しい判断基準であり、企業の持続的な成長の土台となり得るものです。 α -ESGはまた、企業がリスクや機会を十分に認識し、社会課題に事業を通してどう取り組んでいくかという問題提起だと理解しています。投資先企業が α -ESGのLeading Companyとして成長できるよう、NSSKは α -ESG監査を通じて貢献しており、今年も大きく推進したと考えています。

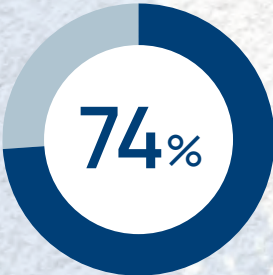
伊藤 隆治
ESG監査役

DIVERSITY & INCLUSION

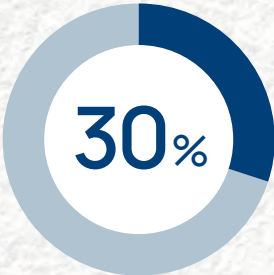
ダイバーシティ&インクルージョン

NSSKはダイバーシティ&インクルージョンの向上に積極的に取り組んでおり、これまでに数々の優れた成果を創出しています。

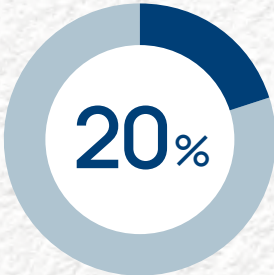
NSSKは投資活動において、α-ESGのなかでも特にダイバーシティ（多様性）とインクルージョン（包摂）を重視しています。現在の日本社会が直面している大きなチャンスの一つが「ジェンダー・オポチュニティ」であり、男女間の格差を是正するために取り組むべき課題は数多く存在します。NSSKは、ダイバーシティとインクルージョンの向上を使命とし、投資先企業において女性の活躍を積極的に推進し、数々の成果を上げています。



全従業員（約20,000人）
に占める女性比率

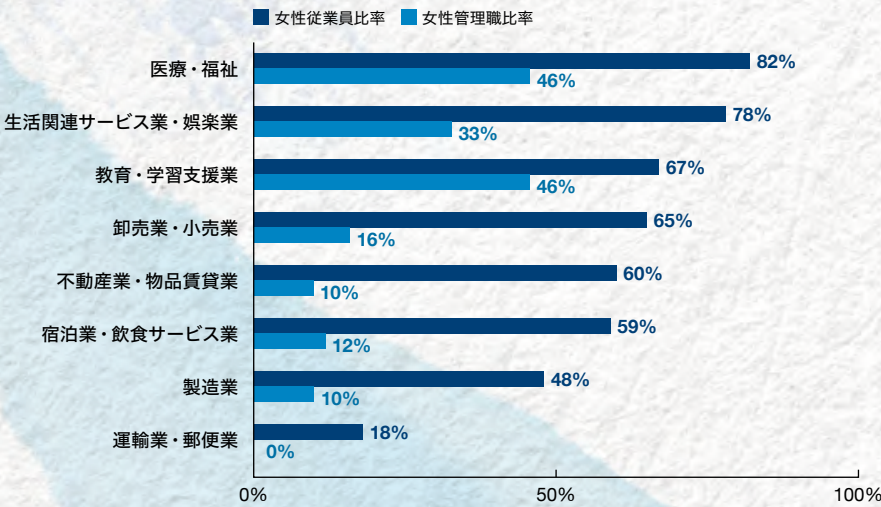


管理職に占める
女性比率



女性またはマイノリティの
CEO/COOを有する
会社の比率

業種別 全従業員および管理職に占める女性比率



※ 2025年6月時点の投資先企業のデータに基づくもの



社歌

いさお
熱しの誓い
作詞・作曲：小椋 佳

ここに集いて ファミリーとなし
押し並べて皆 幸せ創り
灌木だけの 瘦せた土地さへ
恵み豊かな 緑の森へ
姿を変える 熱し誓う
正しき事を 貫き通す
志なお 今日も新し
誇りを胸に NSSK

謙虚努力を ただ常となし
誰彼とない 幸せ創り
関わる人の 悩み戸惑い
寄せる眉間に 福を呼び寄せ
笑顔に変える 熱し誓う
眼差し遥か 世界を見据え
人の喜び 我がものとして
感謝を胸に NSSK



小椋 佳 氏 PROFILE

1944年1月東京、上野に生まれる。
67年東京大学法学部卒業後、日本勧業銀行（現みずほ銀行）に入行。同行に約四半世紀勤務、浜松支店長・本店財務サービス部長等を経て93年退職。94年東京大学法学部に再入学。文学部思想文化学科に進み、哲学専攻にて2000年大学院修士号取得。この間、71年初アルバム「青春・砂漠の少年」を発表。3作目のアルバム「彷徨」は100万枚のセールスを突破。以来、ソングライターとして、布施明、中村雅俊、堀内孝雄、美空ひばり等、多数のアーティストへ作品を提供。「シクラメンのかほり」「俺たちの旅」「夢芝居」「愛しき日々」「愛燦爛」など数多くのヒット作品がある。

社歌「熱しの誓い」
➡ https://youtu.be/_WyQNUU3b94/



編集後記

ESG委員会は、この年次報告書の表紙を「原点回帰」を象徴するものとして選定しました。最初の10年間、私たちは将来の成功のためのプラットフォームを力強く構築してきました。過去の表紙に描かれてきたように、大きな進展を遂げ、富士山の頂に近づいてきました。しかし、11年目の今、私たちは再び「海抜ゼロ」に立っています。NSSKのロゴを飾る雄大な富士山を見上げながら。そして、再び富士山を登り、新しく、より優れたプラットフォームを築き、卓越した投資成果を通じて世界をより良い場所にしていくという期待と活力に満ちています。

NSSKは創業以来、「人として正しいことを貫く」という信念のもと、 α -ESG（環境・社会・企業統治）を投資活動の中心に据えてきました。2021年からスタートした α -ESGレポートも、今回で5年目を迎え、私たちの取り組みが継続的かつ進化してきたことを示しています。

この5年間で、NSSKの投資先は着実に増え、私たちの理念に共感する投資家の輪も広がってきました。グローバルにおいても、 α -ESGに対する見方は大きく変化し、単なるリスク管理の枠を超え、企業価値を高める戦略的要素として認識されるようになっていきます。

私たちはESGを「Alpha-Generating ESG」と位置づけ、持続可能性と収益性の両立を目指す投資活動を推進しています。これは、 α -ESGが企業の長期的成長に寄与するだけでなく、投資家にとっても魅力的なリターンを生み出す可能性があるという信念に基づいています。

今後もNSSKは、 α -ESGの実践を通じて社会に貢献し、投資先企業とともに持続可能な未来を築いてまいります。

NSSK ESG委員会メンバー一同



会社概要

会社名	株式会社日本産業推進機構
英文社名	Nippon Sangyo Suishin Kiko Ltd.
創 業	2014年11月1日
代表者	代表取締役社長 津坂 純
所在地	〒105-6241 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー41階
Webサイト	https://nsskjapan.com/

増上寺、東京タワー、愛宕神社の近所です。
当ビルの42階に素晴らしい眺望と
お洒落なレストラン・バーもございます。
お近くにお越しの際は、皆様、ぜひお立ち寄りください。

NSSK一同



増上寺
<https://www.zoji.or.jp/takara/>



東京タワー
<https://www.tokyotower.co.jp/>



愛宕神社
<https://www.atago-jinja.com/about/>



愛宕グリーンヒルズMORIタワー
<https://www.xexgroup.jp/atago/>